

平成26年度公金運用の実績について

平成26年度の公金の運用実績を取りまとめましたのでお知らせします。

1. 全体

平成26年度			平成25年度		
平均資金残高	運用収入	平均利回り	平均資金残高	運用収入	平均利回り
36,592 百万円	38,411 千円	0.105%	31,685 百万円	41,444 千円	0.131%

平均資金残高が約50億円増加しましたが、平均利回りが低下したため、運用収入が約3,033千円減少しました。

2. 内訳

(1) 一般会計、特別会計等

① 歳計現金等

	平成26年度				平成25年度			
	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)
普通預金	1,552	17.4	315	0.020	1,534	20.0	306	0.020
定期預金	3,790	42.6	4,361	0.115	1,113	14.5	1,439	0.129
債券	1,074	12.1	415	0.039	4,561	59.3	3,150	0.069
その他	2,488	27.9	634	0.025	476	6.2	174	0.037
計	8,904	100.0	5,725	0.064	7,684	100.0	5,069	0.066

平均資金残高が約12億円増加したことにより、平均利回りは微減しましたが、運用収入が増加しました。

② 基金

	平成26年度				平成25年度			
	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高 (百万円)	構成比(%)	運用収入 (千円)	平均利回り (%)
普通預金	—	—	0	—	1	0.1	0	0.00
定期預金	9,160	62.3	10,878	0.119	2,756	21.3	4,459	0.162
債券	3,155	21.4	9,700	0.307	8,092	62.4	20,033	0.248
繰替運用	2,399	16.3	709	0.030	2,100	16.2	1,334	0.064
その他	—	—	0	—	—	—	0	—
計	14,714	100.0	21,287	0.145	12,949	100.0	25,826	0.199

平均資金残高は約17億円増加しましたが、平均利回りが低下したため、運用収入が減少しました。

(2) 企業会計

① 水道事業

	平成26年度				平成25年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	285	6.9	58	0.020	281	8.7	56	0.020
定期預金	456	11.0	552	0.121	—	—	0	—
債券	2,814	68.1	3,989	0.142	2,663	82.0	4,038	0.152
その他	580	14.0	153	0.026	301	9.3	102	0.034
計	4,135	100.0	4,752	0.115	3,245	100.0	4,196	0.129

平均資金残高が約9億円増加したことにより、平均利回りは低下しましたが、運用収入が増加しました。

② 下水道事業

	平成26年度				平成25年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	259	12.3	53	0.020	349	15.9	70	0.020
定期預金	1,070	50.8	1,259	0.118	—	—	0	—
債券	195	9.2	49	0.025	1,174	53.5	849	0.072
その他	584	27.7	148	0.025	673	30.6	235	0.035
計	2,108	100.0	1,509	0.072	2,196	100.0	1,154	0.053

平均資金残高は微減となりましたが、平均利回りが上昇したため、運用収入が増加しました。

③ 病院事業

	平成26年度				平成25年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	529	7.9	72	0.014	430	7.7	88	0.020
定期預金	4,848	72.0	4,305	0.089	1,620	28.9	2,310	0.143
債券	1,354	20.1	720	0.053	3,430	61.1	2,670	0.078
その他	0	0	41	0.050	131	2.3	131	0.100
計	6,731	100.0	5,138	0.076	5,611	100.0	5,199	0.093

平均資金残高は約11億円増加しましたが、平均利回りが低下したため、運用収入が微減しました。

説明

- ・「歳計現金等」とは、一般会計及び特別会計に属する歳計現金並びに歳入歳出外現金である。
- ・「基金」とは、特定の目的のために積み立てた資金または定額の資金を運用するために設けられた資金のことをいう。本市では「財政調整基金」、「市民協働推進基金」、「福祉振興基金」等、22の基金を設けている。
- ・「債券」とは、国債、地方債、政府保証債、国庫短期証券(TDB)をいう。
- ・「繰替運用」とは、基金から歳計現金等への繰替え貸しのことをいう。
- ・「その他」欄には、譲渡性預金（1ヶ月未満）による運用及び他会計貸付金を記載している。
- ・平均資金残高＝延べ運用額÷365日
- ・平均利回り＝運用収入÷平均資金残高×100